

平成 31 年 3 月議会 代表質問 要旨

大項目 平成 31 年度予算案について

中項目：歳入

小項目 1：市民税 個人市民税の均等割について

目的：自主財源の確保にむけて、今後の特徴とは

項目	平成 17 年度	平成 22 年度	平成 27 年度	平成 31 年度
人口	43,566	42,875	41,953	41,332
均等割りのみ	1,450	2,044	2,007	
納税義務者	21,418	22,761	23,068	23,570
割合	49.2%	53.1%	55.0%	57.0%
所得割金額	1,510,550	1,942,349	2,189,004	2,282,161
市民税総額	1,566,936	2,010,632	2,269,239	2,387,313

市税概要より抜粋（17, 22, 27 は決算）31 年度は予算

質問：歳入の基幹は、市民税。堅調に推移しているが、個人市民税について、人口が減少していく中で、納税義務者が増加している傾向が続く。この特徴の意味することは何か

小項目 2：基金の繰入について

目的：基金の安定的運用

質問：公共施設維持補修基金（電源立地交付金）、合併地域振興基金（特例債のソフト部分）の取り崩しが特徴的である。また、その充当事業について、今年度予算では、基金と一般財源との財源振分が多くみられる。基金の使い道の特長とは、また、何を目的にしているのか。

中項目：歳出

#### 小項目4：道の駅（仮称）くろべについて

目的：便益とは、ライフサイクルコストの意識を問う

質問：期待値が高い「道の駅」。国交省整備ゾーン、市が運営するゾーン、市が誘致するゾーンと考えられる。一体整備のため、市道整備など周辺整備については全体費用としても、市が運営するゾーン、市が誘致するゾーンについては、それぞれ便益とアウトカムの効果が求められる。そこで、（仮称）道の駅の、市が運営するゾーンと、市が誘致するゾーンについて、費用対便益はどのように試算しているか？

（平成30年度に「民間事業者誘致及び管理運営支援業務委託380万」）

#### 小項目5：市民交流センターについて

目的：中心市街地整備をどのように具現化、ライフサイクルコストとは、

質問：来年度は中心市街地活性化予算が目白押し、立地適正化計画でその核と据える「市民交流センター」。

中心市街地をどのように活性化するのか、その将来像とアウトカムの効果を示せ。

市民交流センターのライフサイクルコスト、特に運営コストにかかる、ランニングコストの試算について問う。

#### 小項目6：目玉事業のレガシー

目的：シアター・オリンピックス、ももクロ春の一大事の目標とは

質問：来年度市内で開催される、「シアターオリンピックス」と「ももクロ春の一大事」。二つのイベントが開催されることについて、動員や賑わいではなく、黒部市としてレガシー（市内で開催される効果）として期待することは。

#### 小項目7：公共ストックの長寿命化について

目的：公共施設の再編への取組および公共ストックの長寿命化について

質問：来年度における公共施設の再編への取組とは（特に、2中学校跡地や市民会館、働く婦人の家、三日市公民館跡地等への考え方は）。

市道整備など地区要望について傾注した予算となっている。一方で、道路や橋梁などの長寿命化への取組予算が目立つ、今後の公共ストック（道路、上下水道等）への取組方針とは

## 小項目 8：産業支援

### 目的：各産業支援について

質問：人口減少社会において、有効求人倍率が高く慢性的な人不足が現実的問題となっている。また、第一次産業や第三次産業では事業継承も大きな課題。黒部市として産業支援を戦略的に行うことが求められることを踏まえ、

第一次産業：農業、特に、経営体の支援策について。及び、経営体を推進していくための課題とは。

第二次産業：人手不足が懸念される中では、新規の企業誘致よりも本市に本社を有する地場産業育成が現実的な戦略と考える。企業団地の在り方を含め、来年度目指す方向性とは。

第三次産業：本市の観光産業において「関電ルートの一般開放」が最大のテーマ。観光産業育成は、本市の住民・経済の活性化が土台であるべきとの考えから、どのような視点（数値）で観光産業を育成していくのか、その考え方を問う。

## 小項目 9：公共交通の活性化

### 目的：地方創生事業の総括年度、これまでの経緯を含め、目指す成果とは

質問：地方創生事業において、黒部市は公共交通の整備を進めている。来年度がその最終年となることから、これまでの経過を含め、来年度事業における目指す成果とは（富山市は、高齢者層の外出機会が増えたこと、中心市街地への立ち寄りが増えたこと、民間投資がふえたことなどを成果としている）

## 小項目 11：教育の充実 その1

### 目的：義務教育以後の予算を傾注した目的とは、

質問：高校生医療無償化、高校生入学時への奨学金拡充など、義務教育以降への支援増が目立つ。義務教育以降の教育に対して、大きく支援した目的とは

## 小項目 12：教育の充実 その2

### 目的：中学校再編の最終年度

質問：清明、明峰の2中学校が開校するまでの残り1年。ハード事業（通学対策、学校施設建設）は開校までに間に合うのか。また、指定校変更を希望する生徒や、部活動体系の変化など、ソフト事業への対応は万全なのか

#### 小項目 15 : 中山間地対策

目的 : 中間山地の生活対策について

質問 : 富山県で「中山間地域における持続可能な社会の形成に関する条例」の制定が検討されている環境を念頭に、中心市街地活性化、道の駅などハード整備が計画される中、中山間地への支援策への考え方は。

#### 小項目 16 : 操出金の考え方

目的 : 一般財源からの操出金を予算化する考え方

質問 : 病院、牧場、フィッシャリーナ、上下水道、簡易水道など、一般会計からの操出金が多くなってきている。各特別会計や、企業会計の財務ガバナンスの考え方とは。